

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局 障害福祉部 障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立到津ひまわり学園	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市小倉北区下到津一丁目 8 番 8 号		
	設置目的	障害のある児童を日々保護者の下から通わせて、社会的自立生活へ向けての援助、学習の指導、健康管理その他の支援を行うことにより、障害児の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
		インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市福祉事業団		
	所 在 地	北九州市八幡東区中央二丁目 1 番 1 号		
指定管理業務の内容		児童発達支援センターの管理運営。 施設の維持管理。		
指定期間		平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日		

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		35
	(1) 施設の設置目的の達成	25	3	15
	① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。			
	② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。			
	③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。			
[評価の理由、要因・原因分析]				
<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障害児へのニーズ増大にあわせ、定員【50名】を超過して受け入れている（国基準によると定員の125%までが、おおよその適正利用者数とされている。当該数値を超えない範囲での受け入れを行っており、アンケート結果及び事故報告書においても定員超過による影響は確認されない）。</li> <li>また、開園日を平成24年度の245日から平成25年度250日と増加させ、長期休暇の短縮を図り、保護者の負担軽減を図っている。</li> <li>家族参加を促進するため、土曜日に行事（遠足、保育参観など）を実施している。</li> </ul>				
障害児通所支援	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25
定員	50名	50名	50名	50名
利用者数	57名	59名	59名	58名
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年10月より新規給付サービスとして、3ひまわり学園（到津・若松・引野）で保育所等訪問支援の指定を受けサービスを開始した。到津ひまわり学園では49件の支援を行っている。</li> <li>到津・若松・引野の3つのひまわり学園合同勉強会を実施し、待機児童や地域の保育所・幼稚園に通園している児童やその職員への支援事業（地域支援の取り組み）を実施している。</li> <li>外来相談、短時間通園では目標値を大幅に上回り、地域療育支援を行う役割を十分に果たしている。また、23年度実績に比較しても増加している。</li> </ul>				
外来相談	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25
目標値	—	180件	220件	300件
実績	未実施	248件	367件	316件

短時間通園	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25
目標値	—	800件	1,050件	1,100件
実績	未実施	1,058件	1,455件	1,373件

巡回相談	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25
目標値	—	70件	65件	80件
実績	未実施	63件	129件	55件

- ・ 他の施設にはない独自の取組みとして乗馬体験や父親の療育参加を促す取組みなどを定期的に行っている。

## (2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	25	4	20
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。			
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

## 【評価の理由、要因・原因分析】

- ・ アンケート調査の結果、施設、職員の対応等について、「とてもよい」「よい」を合わせた評価は、要素ごとに見ると88%から99%、平均では95%と、総合的に利用者の満足度は非常に高いものとなっている。

	【参考】H22(更新前)	H23	H24	H25
目標値	90%以上			
満足度平均	95%	95%	94%	95%
スタッフ接遇	96%	94%	95%	96%
情報提供	95%	91%	92%	92%
サービス内容	96%	94%	94%	99%
施設関係	93%	96%	100%	98%
緊急時	95%	89%	88%	88%

- ・ 家庭訪問、個人懇談、クラス懇談、連絡帳、保護者会勉強会などを通して、保護者の要望や不安を受け止め、個々に応じた支援を実施した。特に家庭訪問については、家

<p>族や子どもの状況に合わせ、決め細やかに支援を行った。(平成 25 年度は 39 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページ (35 回更新)、園だより (12 回発行)、グループのお知らせ (8 回) のほか、時期に応じた臨時のお知らせなど、利用者や家族へ必要な情報提供を行っている。</li> <li>・ 苦情に対しては、苦情受付及び苦情解決責任者を決めて対応した。連絡帳や電話などで苦情に繋がりそうな情報を得た際には、早期に対応し解決するように対応した。</li> <li>・ 「お父さんと遊ぼう」を実施し、父親の育児参加の機会を設けている (25 家族の参加)。</li> <li>・ 学生を中心に職員 OB も含めて延べ 166 人のボランティアを受け入れ、行事やプール活動等の手伝いをしてもらい、より楽しく安全な活動に繋がっている。</li> </ul>																		
<b>2 効率性の向上等に関する取組み</b>	<b>15</b>		<b>9</b>															
<b>(1) 経費の低減等</b>	15	3	9															
① 施設の管理運営 (指定管理業務) に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。																		
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。																		
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。																		
<p><b>[評価の理由、要因・原因分析]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ袋の削減、プリンタートナーのリサイクル品の使用、暖房・冷房の調節、照明をこまめに消す等経費削減に努めている。</li> <li>・ 障害により体温調節が困難な児童等を処遇しながらも、適切な消費電力を維持している。</li> </ul>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>【参考】H22 (更新前)</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費電力 実績</td> <td>40,772kwh</td> <td>39,432kwh</td> <td>36,920kwh</td> <td>41,325kwh</td> </tr> <tr> <td>水道光熱費 実績</td> <td>1,973 千円</td> <td>1,997 千円</td> <td>1,983 千円</td> <td>2,297 千円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	【参考】H22 (更新前)	H23	H24	H25	消費電力 実績	40,772kwh	39,432kwh	36,920kwh	41,325kwh	水道光熱費 実績	1,973 千円	1,997 千円	1,983 千円	2,297 千円
年度	【参考】H22 (更新前)	H23	H24	H25														
消費電力 実績	40,772kwh	39,432kwh	36,920kwh	41,325kwh														
水道光熱費 実績	1,973 千円	1,997 千円	1,983 千円	2,297 千円														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清掃、設備保守点検については再委託を行っており、業務は適切に行われている。</li> </ul>																		
<b>(2) 収入の増加</b>	-	-	-															
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。																		
<p><b>[評価の理由、要因・原因分析]</b></p> <p>提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫はできない。</p>																		

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み	3 5		2 1			
<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況</p> <p>① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。</p> <p>② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。</p> <p>③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。</p> <p>④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。</p>	1 5	3	9			
<p><b>【評価の理由、要因・原因分析】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人員配置については指定基準に応じた人員が配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。</li> <li>・ 新規採用職員を事業団の研修に参加させたほか、職場内研修（人権、個人情報保護、障害者虐待防止法、専門研修など）の実施や、職場外研修（発達障害に関する専門研修、感覚統合療法入門講習会など）として参加させている。</li> <li>・ 利用者の社会参加体験として、地域の施設（子ども文化会館、到津の森、山田緑地など）の活用や地域の到津保育所やシオン山幼稚園と交流を13回行っており、地域の団体との連携を図っている。</li> <li>・ 職員を小倉南幼稚園や市民センター、障害児通所支援事業所などに計12回講師として派遣し、地域貢献を行っている。</li> </ul>						
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>① 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。</p> <p>② 施設の利用者に対する身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。</p> <p>③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。</p> <p>④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。</p> <p>⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。</p> <p>⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。</p> <p>⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。</p> <p>⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。</p>				2 0	3	1 2
<p><b>【評価の理由、要因・原因分析】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「事業団個人情報規定」「個人情報保護指針」に基づき管理徹底を行っている。</li> <li>・ 人権研修の開催や虐待に関して日常の様子や持ち物、連絡帳、体の傷、服装に至るまで注意して観察し、気になる子どもについては子ども家庭相談センター等との連携を</li> </ul>						

とるなど、人権の尊重、身体拘束などの虐待防止を徹底している。

- ・ 「安全チェック表」にて遊具・設備を月一回点検、「ひやりはっと」を毎日朝礼で報告、手洗い・消毒の励行などにより日常の事故防止や安全対策などの取組みを実施している。
- ・ 施設と事務局の緊急連絡網の整備、災害時の職員配備の策定を行い、様々な事態を想定した避難訓練を実施し、危機管理体制をとっている。
- ・ 学園専用携帯電話を施設長が常時保持することで連絡体制の強化を図っている。

#### 【総合評価】

合計得点	65	評価ランク	C
<b>[評価の理由]</b>			
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業計画に沿って、施設の適切な運営管理を行っており、利用者の満足度も高いものとなっている。</li><li>・ また、利用者へのサービスの質の維持・向上に努めるだけでなく、家族支援にも力を入れており、アンケート結果のサービス内容・情報提供の項目が高評価であることから家族支援を評価されているといえる。</li></ul>			
<b>[今後の対応]</b>			
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 引き続き、施設の管理運営を適切に行い、利用者へのサービス向上に努めるとともに、関係機関との積極的な交流活動により、障害児支援の地域の拠点としての役割を果たすことを期待する。</li></ul>			

#### [北九州市指定管理者の評価に関する検討会議における意見]

家庭訪問などを通して、保護者の要望や不安を受け止め、個々に応じたきめ細やかな支援を実施するなどにより、高い利用者満足度を得ていることは、評価できる。

今後も、施設の設置目的達成に向けた、適正な管理運営の継続と、更に施設の魅力を向上させる取組みを期待したい。

### 【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 好	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

### 【総合評価】

- S：総合評価の結果、特に優れていると認められる  
(合計得点が90点以上)
- A：総合評価の結果、優れていると認められる  
(合計得点が80点以上90点未満)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる  
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる  
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる  
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる  
(合計得点が50点未満)